

# 地域の魅力等発信基盤整備事業費

## 令和2年度概算要求額 3.8億円（2.3億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故以降、福島の復興は着実に進展しています。一方で、福島に関する報道の減少に伴い、国民が復興の状況を知る機会が限られ、情報の「固定化」や「風化」が進んでいます。
- 本事業では、被災12市町村を中心とした福島県の伝統・魅力等の発信による風評被害の払拭や交流人口の増加に向けた取組を補助することで、民間主導で正確な情報が発信される基盤を整備します。
- 併せて、国自身も被災12市町村を中心とした福島の復興状況や魅力を国内外に対して戦略的かつ効果的に発信するとともに、福島県が行う情報発信等の取組を支援することで、正確な情報が発信される基盤を整備します。

#### 成果目標

- 地域の魅力・伝統を発信する事業（年間15件程度）への補助と、福島に関する正確な情報発信を通じて民間企業等が安定的に事業を行うことができる環境の整備を推進します。

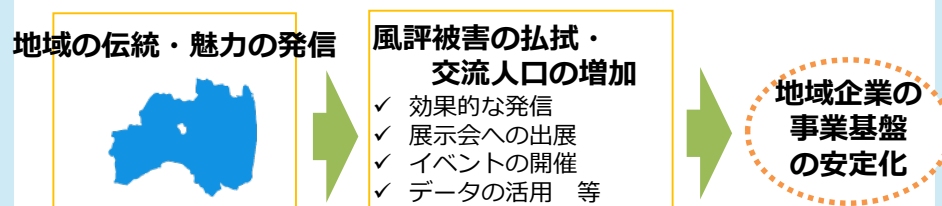
#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### (1) 地域の伝統・魅力等発信支援事業

- ① 福島県内の伝統・魅力等の発信により、風評被害の払拭や交流人口の増加などの具体的な成果に資する取組を補助。
- ② 被災12市町村の伝統・魅力等の発信により、風評被害の払拭や交流人口の増加などに資する取組を補助。



#### (2) 地域の魅力等戦略的発信事業

- 被災12市町村を中心とした福島県の復興状況や魅力について、仮説に基づいたターゲット別の有効なコンテンツを制作する。
- 制作したコンテンツは、戦略的かつ効果的な手法により発信を行うとともに、発信後は効果分析を行う。



#### (3) 情報発信基盤整備事業

- 福島県が行う、被災12市町村を中心とした福島県の復興状況に関する情報発信等の取組を支援する。